

豊かな財産があればその
家の姿を立派にするが
豊かな徳はおのずから
その人の身を立派にする

富は屋おくを潤うるほし

徳とくは身みを潤す

大学

儒学で尊重される書物の一つ。
五経の「易経」「詩経」「書経」「春秋」「礼記」のうち「礼記」の一遍であったが、朱子により「中庸」「論語」「孟子」「大学」の四書となる。「二宮尊徳」の石像が読んでいる本が「大学」である。「二宮尊徳はこの書を読み深めて、各地の農村復興に取り組み報徳思想を唱えた。」

神道知識への誘いざなひ「お焚き上げ」

お神札・お守は受けた神社へ感謝の気持ちを含めたお参りをして納めま
す。お参りは願う時だけでなく必ず
お礼参りを致しましょう。
お焚き上げとはお神札とお守に対し
神職が感謝の誠を捧げ、忌火を以て
焼上げ、天上に立ち上る煙の如く御
神霊が元のお社にお戻りになること
を祈る神事です。
近年特に都内では境内でお焚き上げ
が出来ない神社も増えていきます。神
社で受けていないものは、紙などで
包み可燃物としてお出しく下さい。

『大だいがく学』

神社は心のふるさと

未来に受け継うるわごう「美しい国ぶり」



宮中三殿のうち皇霊殿でお祭りが行われ、多摩陵においてもお祭りが行われます。

天皇皇后両陛下をはじめ皇族方の拝礼があります